

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ミラクル・リコシェ スペシャルエディション	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.460	△RG 0.052	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ミラクル・リコシェSE

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

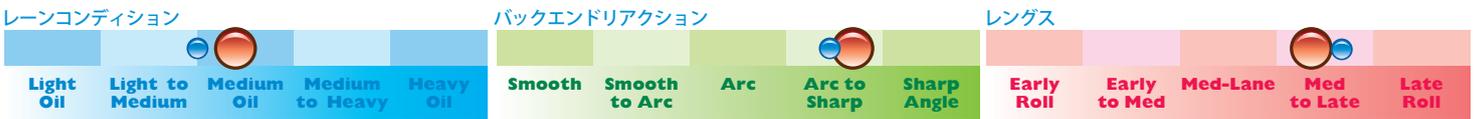
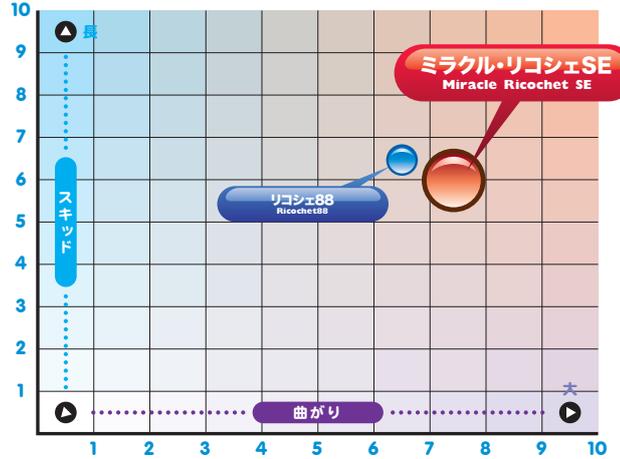
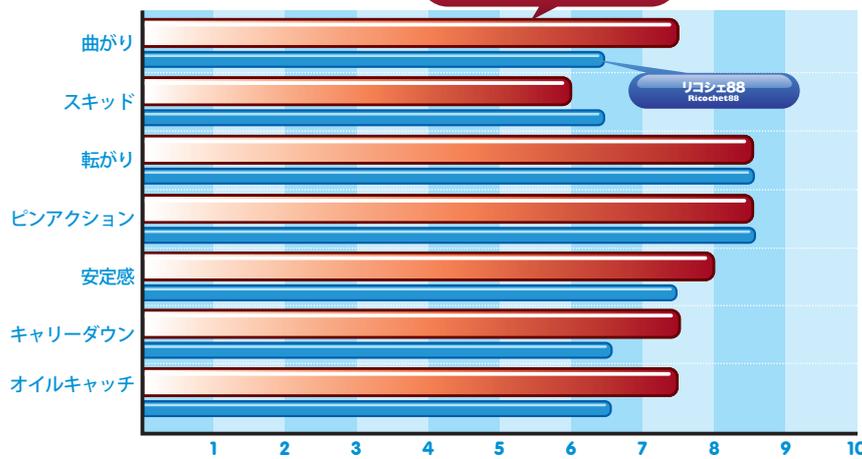
比較対照ボール：リコシェ88

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



ボールの評価

約年半の沈黙を破り、リコシェ再始動！
 ABSにとってもまたコロンビア社にとっても「切れる代名詞」のリコシェシリーズ。エボナイト工場に生産拠点を変えてからの歴代リコシェシリーズ最大のキレ幅を持つ「ミラクルリコシェ」をモチーフに、如何にオイル上での安定感とキレ幅双方を兼ね備えた性能を出すことができるのか？その開発コンセプトを掲げ仕上がったボールがミラクルリコシェSEです。
 約年半の間、カバーストックもオイルキャッチおよびドライゾーンでの反応が強くでる素材が開発されてきました。ただ単に以前のもをそのまま復刻版としてリリースするのではなく、今のカバーストックの特性を最大限に生かしリアクションとして表現すること。バックエンドで解放できるだけのパワー温存と安定感を求めたキャッチ力を見出すためのカバーストックの抽出。国際的なだから仕上げられた、日本監修完全オリジナルカバーストックで日本のコンディション事情に拘り作り上げました。
 リアクションイメージとしては、走るイメージは残しながらバックエンドまでのパワー放出期の挙動が少なくなり、キレ幅はミラクルリコシェ級のイメージを保っていること。ドライゾーンに触れてからの角度のある曲りで暴れる感じも見受けられると思いますが、切れるボールの宿命でしょう。その部分を考慮してもリコシェという名を継承するに相応しい性能に仕上がっていると思います。
 リコシェ復活を望まれる中、満を持してミラクルリコシェSEとして復活致しました。リコシェファンの方、また切れる性能で攻撃的にラインを攻めたい方にはこのボールをぜひお試しください。

特記事項

日本監修の完全オリジナルカバーストックでリコシェの代名詞でもある鋭いバックエンドリアクションと日本のコンディション事情を加味し拘り仕上げました。